

平成28年度(独)自動車事故対策機構調達等合理化計画の概要

- 公正性・透明性を確保しつつ、自律的かつ継続的に調達等の合理化に取り組む。
- 計画策定、実施、自己評価及び次計画への反映というPDCAサイクルにより推進。
- 計画策定及び自己評価に当たっては、外部有識者からなる契約監視委員会の点検を実施。
- 「調達等合理化検討会」を内部に設置し、調達等合理化計画を着実に実施。

I. NASVAの調達の現状

● 調達全体の全体像(27年度)

→ **180件、約53.3億円**

◇ 「競争性のある契約

(一般競争、企画競争、公募)」

97件、19.3億円

◇ 「競争性のない契約(特命随契)」

83件、34.0億円

※うち59件は事務所賃貸借契約等に係わる契約

● 一者応札・応募の状況

◇ 一者応札・応募の件数は増加
20件→23件

H26(一般競争 8件、企画 1件、公募11件)

H27(一般競争 10件、企画 3件、公募10件)

● 企画競争による調達

◇ 件数は同件数、金額が増加
11件→11件、約6千万円→約12千万円

● 障害者就労施設等からの調達状況

◇ 調達方針に基づき積極的に推進する取組により、件数・金額ともに増加

37件→65件

約224万円→約380万円

II. 合理化に向けた取組

(1) 重点的に取り組む分野

① 企画競争による場合の事前検証の徹底

→ 企画競争によることについて、適正契約検証チームによる徹底的な事前検証を実施する。

② 一者応札の見直し

→ 複数年度にわたり一者応札が継続している事案について、適正契約検証チームの検証を行った上で適正な契約方式へ移行する。

③ 調達グループを超えた一括調達

→ 汎用的な物品・役務等の調達において、スケールメリットの活用や事務省力化の観点から支所等の調達案件を取りまとめる等、引き続き一括調達の実施拡大について検討する。

④ 障害者就労施設等への優先調達

→ 調達方針に基づき、障害者就労施設等への発注拡大に向け積極的に推進する。

⑤ オープンカウンター方式の試行

→ 更なる競争性の向上・透明性の確保を図る観点から、オープンカウンター方式による試行を行い、調達実施要領を策定する。

(2) ガバナンスの徹底

- 随意契約に関する内部統制の確立を図るため、適正契約検証チームにおいて、新たに随意契約を締結する場合に事前点検を実施する。
- 不祥事の発生 of 未然防止等のため、重点監査項目等による効果的な内部監査等を実施する。
- 研修等を実施することにより職員のスキルアップを図る。